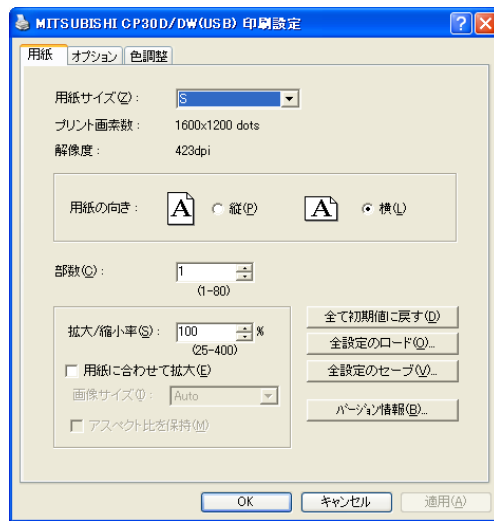


1. 用紙設定ダイアログ



<図 11 用紙設定ダイアログ>

1) 用紙サイズ

用紙のサイズを選択します。
用紙サイズ別プリント画素数を右の表に示します。

2) プリント画素数

各用紙サイズにプリントするための画素数を表示します。

3) 解像度

プリント解像度を表示します。

4) 用紙の向き

用紙の向きを設定します。

5) 部数

設定値の数だけ同じ画像をプリントします。(設定範囲 1 - 80)

* 通常複数ページプリントするときは例のようになります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 1p 2p 2p 3p 3p

* アプリケーションによっては、上記のように転送しない場合があります。

(例) 3 ページを 2 部印刷 出力結果: 1p 2p 3p 1p 2p 3p になるように、アプリケーションが一部ずつ 2 回出力する。

6) 拡大 / 縮小率

拡大縮小の値を設定します。(設定範囲 25-400%)

7) 用紙に合わせて拡大

選択された画像サイズのデータを、用紙サイズに合わせて拡大します。

8) 画像サイズ

Auto / 640x480 / 800x600 / 1024x768

用紙に合わせて拡大を行う場合に、画像サイズを選択します。

Auto を選択するとアプリケーションで作成された画像サイズをプリンタドライバで読み取り、設定します。

9) アスペクト比を保持

画像データのアスペクト比が保持されます。

OFF の場合は、印画領域いっぱい画像が出力されます。

10) 全て初期値に戻す

用紙、オプションおよび色調整タブ内の全ての設定を初期値に戻します。

11) 全設定のロード

設定ファイルを読み込みます。

12) 全設定のセーブ

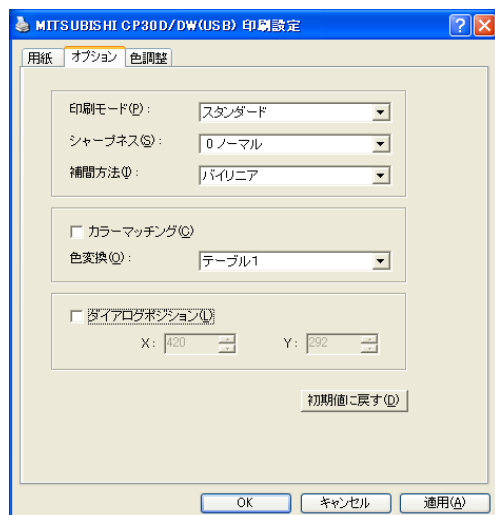
用紙、オプションおよび色調整タブ内の全ての設定値を設定ファイルに保存します。

13) バージョン情報ボタン

プリンタドライバのバージョン情報を表示します。

用紙サイズ	プリント画素数(pixels)
S	1600 × 1200
L	2100 × 1600
Auto	プリンタのインクリボンサイズが設定されます。

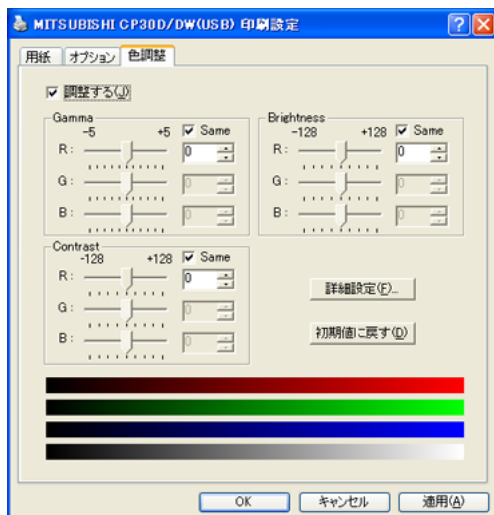
2. オプション設定ダイアログ



<図 12 オプション設定ダイアログ>

- 1) 印刷モード
スタンダード / パワーセーブ
印刷モードを変更できます。
スタンダード : 高速、高画質印画を行います。
パワーセーブ : 低消費電力モードで印画を行います。
- 2) シャープネス
なし / -3 / -2 / -1 / 0 / 1 / 2 / 3
輪郭補正の強さを変更できます。
なし : 輪郭補正を行わない
-3 ~ 3 : 値が小さいと輪郭がやわらかくなります。
- 3) 補間方法
ニアレストネイバー / バイリニア / バイキュービック
拡大 / 縮小設定に 100% より大きな値が設定された場合、選択された補間方法で拡大処理を行います。
値が大きいと輪郭がシャープになります。
- 4) カラーマッチング
色の管理タブで設定されている ICC プロファイルにより、カラーマッチング処理を行います。
色の管理タブで ICC プロファイルが設定されていない場合は、カラーマッチング処理は行われません。
カラーマッチングを OFF に設定してください。
- 5) 色変換
なし / テーブル 1 / 外部テーブル
なし : 色変換を行いません。
テーブル 1 : 色変換を行います。
外部テーブル : プリンタドライバに同梱されている色変換テーブルを使用します。
- 6) ダイアログポジション
メッセージダイアログボックスが表示される位置を変更できます。
- 7) X 座標設定 / Y 座標設定
ダイアログポジション設定が ON の場合、座標入力が可能となります。メッセージダイアログボックスの左上の座標を設定します。
- 8) 初期値に戻す
オプションダイアログ中の全ての調整値を初期値に戻します。

3. 色調整



<図 13 色調整ダイアログ>

3.1. 色調整ダイアログ

1) 調整する

色調整を行う場合、チェックしてください。

2) Gamma

画像の中間調部の濃度を調整します。調整値(-5 ~ +5)

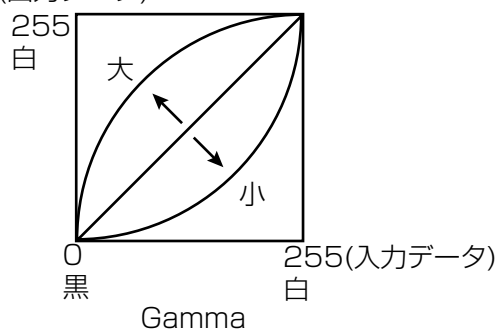
Gamma の値が小さいほど、中間調部が暗くなります。

Same チェックボックス

ON : R,G,B を同値に設定します。

OFF : R,G,B を異なった値に設定します。

(出力データ)



3) Brightness

画像のブライトネスを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

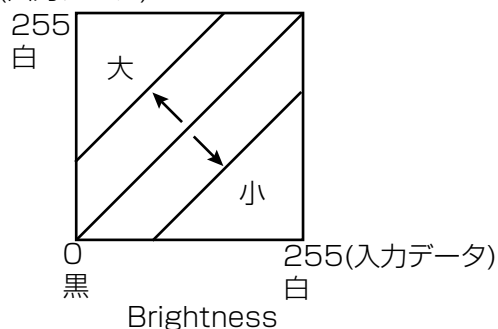
Brightness の値が小さいほど、画像全体が暗くなります。

Same チェックボックス

ON : R,G,B を同値に設定します。

OFF : R,G,B を異なった値に設定します。

(出力データ)



4) Contrast

画像のコントラストを調整します。調整値 (-128 ~ +128)

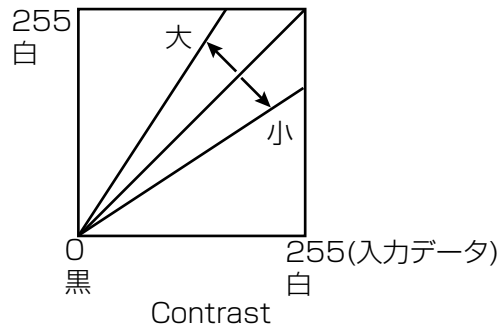
Contrast の値が大きいほど、画像のコントラストが強くなります。

Same チェックボックス

ON : R,G,B を同値に設定します。

OFF : R,G,B を異なった値に設定します。

(出力データ)



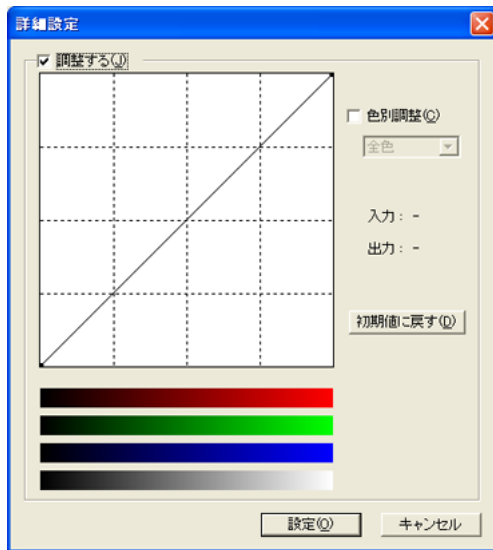
5) 詳細設定

トーンカーブで、より細かい色調整を行います。

6) 初期値に戻す

色調整ダイアログの全ての調整値を 0 に戻します。

3.2. 詳細設定ダイアログ



<図 14 詳細設定ダイアログ>

1) 調整する

色調整を行う場合、チェックしてください。

2) 色別調整

ON : RGB 各色を個別に調整します。

OFF : RGB 各色を同様に調整します。

3) 調整色選択

色別調整時、調整色を選択します。

4) 入出力値表示

調整ポイントの入力（調整前階調値）、出力（調整後階調値）を表示します。

5) 初期値に戻す

全てのトーンカーブを (0, 0) - (255, 255) のリニアな直線に戻します。

4. エラー表示

No.	エラー表示	表示ボタン	処理内容
(1)	プリンタが接続されていません。	OK	OK ボタンをクリックし、プリンタを接続(プリンタの電源を入れる / I/F ケーブルを接続する) すると、印刷処理を再開します。
(2)	プリンタからのレスポンスがありません。 プリンタの電源を入れ直してください。	OK	OK ボタンをクリックするとダイアログが消え、プリントジョブが削除されます。プリンタの電源を入れ直した後、再度印刷処理を実行してください。
(3)	リボンカートリッジが装着されていません。	キャンセル	エラーを解除するとダイアログが消え、自動的に印刷処理を再開します。 キャンセルボタンをクリックすると、印刷処理を中止します。
(4)	プリント用紙がありません。		
(5)	ペーパーカセットが装着されていません。		
(6)	プリント出口の用紙を取り除いてください。		
(7)	使用できないリボンカートリッジを検出しました。		
(8)	ダイヤルカバーが開いています。		
(9)	インクリボンが終了しました。		
(10)	プリント用紙のサイズが異なります。		
(11)	プリンタドライバで設定した用紙サイズとインクリボンの組み合わせが違います。		
(12)	フラップが開いています。		
(13)	メカエラーです。リボンカートリッジを取り出してください。		
(14)	ペーパーカセットを取り出し、用紙を確認してください。		
(15)	紙づまりです。ジャム排紙ダイヤルを使って用紙を取り除いてください。		
(16)	紙づまりです。プリンタの電源を入れ直してください。	OK キャンセル	OK ボタンをクリックし、プリンタの電源を OFF した後エラーを解除してください。 プリンタの電源を入れると、印刷処理を再開します。 キャンセルボタンをクリックすると、印刷処理を中止します。
(17)	ダイヤルカバーが開いています。ダイヤルカバーを閉め、プリンタの電源を入れ直してください。		
(18)	フラップが開いています。プリンタの電源を入れ直してください。		
(19)	裏蓋が開いています。プリンタの電源を切り、裏蓋を閉めてください。		
(20)	メカエラーです。プリンタの電源を入れ直してください。		
(21)	プリンタにエラーが起きました。 プリンタの電源を入れ直してください。		

- * パソコン上にエラーが表示されず、プリンタからの印刷も行われない場合は、プリンタの前面インジケータの表示を確認してください。
プリンタにエラーが発生している場合は、エラーを解除すると自動的に印刷処理を再開します。
プリンタの前面インジケータの表示については、CP30D 取扱説明書を参照してください。
- * 以下のオペレーティングシステムや設定以外でプリンタをご使用の場合は、エラー表示を行わない場合があります。

インターフェース	オペレーティングシステム	設定
USB	Windows7/8/10	「このプリンタで双方向通信機能をサポートする」に設定されている。

- * プリンタの電源が入っていない / I/F ケーブルが接続されていない場合は、ジョブは削除されません。プリンタの電源を入れる / I/F ケーブルを接続することにより、再度データが転送されます。

注意事項

- 1) スプールファイル用のハードディスクの確保
スプールファイル用のハードディスクの容量を、使用されるプリンタと印画枚数にあわせ十分確保してください。不足した場合正しく印画できないことがあります。通常、スプールファイル用ドライブはウィンドウズシステムのドライブと同じドライブです。
- 2) プリンタ操作
プリンタ操作については、本体取扱説明書を参照してください。
印画データ転送中および印画実行中にプリンタの電源を切らないでください。
やむなく、電源が OFF した場合、ホストコンピュータの再起動が必要となる場合があります。
(印刷ドキュメントの削除が実行できない場合、ホストコンピュータの再起動が必要です。)
- 3) 色調整の適用範囲について
色調整は背景を含む印画範囲全体に適用されます。
- 4) 「プリンタに直接印刷データを送る」の設定について
プリンタに直接印刷データを送る設定を選択した場合、一部のアプリケーションでオブジェクトが正しく印画されない場合があります。この場合は、「印刷ジョブをスプールし、プログラムの処理を高速に行う」を選択して印刷を行ってください。
プリンタに直接印刷データを送る設定
プリンタプロパティシート「詳細設定」ページ内
- 5) ホストコンピュータとプリンタの接続について
データ転送中にインターフェースケーブルは抜かないでください。
やむなくインターフェースケーブルが抜かれた場合は、プリンタの DATA インジケータの点滅が止まった後、接続を行ってください。プリンタの DATA インジケータの点滅が止まる前にケーブルを接続するとプリンタドライバが正常に動作しなくなる場合があります。
- 6) USB 接続するためのパソコン条件
Windows 7/8/10 プレインストールタイプのパソコン、パソコンメーカーにより USB 動作が保証されているものをご使用ください。
CP30D は USB 2.0 (Hi-Speed USB) インターフェース対応です。
USB 2.0 は USB 1.1 の完全上位互換のため、CP30D は USB 1.1 インターフェース動作可能パソコンとも接続可能です。
CP30D を USB 2.0 (Hi-Speed USB) でご使用になりたい場合は、パソコン側が USB 2.0 (Hi-Speed USB) に対応している必要があります。パソコン側の USB 2.0 (Hi-Speed USB) 動作については、ご使用になっているパソコンメーカーにご確認ください。
- 7) USB ケーブルの接続
プリンタドライバのインストール後に USB ケーブルを抜き差しする場合は、ケーブルを抜いてから 10 秒以上の間隔を空けてください。間隔をあげずに抜き差しを行うと正常に動作しない場合があります。
- 8) 印刷ジョブ
データ転送中に、スプーラ内の印刷ジョブを削除しないでください。やむなく削除した場合は、プリンタが初期状態になるまで次の印刷を行わないでください。
- 9) 印刷部数
一部のアプリケーションでは、プリンタドライバで設定した印刷部数が機能しない場合があります。アプリケーションの印刷ダイアログボックスから印刷部数の設定を行ってください。
- 10) 複数台接続
CP30D を 1 つのパソコンに複数台接続すると、接続した台数分、新しいハードウェアの追加ウィザードが表示され、プリンタドライバのインストールが実行されます。接続したプリンタ分のプリンタドライバがインストールされます。
- 11) 印刷中のエラー
印刷中に何らかのエラーが発生しても、PC にエラー表示されない場合があります。プリンタの前面インジケータの表示を確認し処置を行うと、印刷処理を再開します。プリンタの前面インジケータの表示と処置については、プリンタの取扱説明書を参照してください。

- 12)印刷実行時、“パラメータの値は無効です。”と表示された場合は、以下のような操作を行ってください。
- システムプロパティのハードウェアタブより、デバイスマネージャを選択します。
 - ハードウェアの変更スキャンを実行します。
- 13)補間方法
- 下記のような設定を行った場合に、オプション設定タブ内の補間方法で画像データが拡大されます。
- 用紙設定タブ内の拡大 / 縮小率で 100% より大きい値を設定
 - 用紙に合わせて拡大を設定
- 初期設定は、「バイリニア」です。
- 高速で処理を行いたい場合は、「ニアレストネイバー」を選択してください。
- 高画質で出力したい場合は、「バイキュービック」を選択してください。
- 拡大 / 縮小率で 100% 以下の値が設定された場合は、補間方法の処理は適用されません。
- 14)ダイアログポジション設定範囲
- 複数台のモニタが接続されている場合も、メインモニタ領域内のみメッセージダイアログボックスの表示位置を変更することができます。
- 15)印刷モード設定
- プリンタのDIPスイッチ設定によっては、プリンタドライバで印刷モード設定を切り換えても、実際に印刷されるモードが切り換わらない場合があります。
- プリンタのDIPスイッチ設定は、CP30D 取扱説明書を参照してください。
- 16)用紙サイズで「Auto」を選択した場合
- 印刷開始時、プリンタにインクリボンが設定されていないと正常に印画が行えない場合があります。印刷を行う前に、適切なインクリボンがプリンタに設定されていることを確認してください。
- L サイズより大きな画像の場合、画像が切れて出力されます。
- 17)画像サイズで「Auto」を選択した場合
- アプリケーションによっては、描画された画像サイズをプリンタドライバで読み取れない場合があります。画像サイズが読み取れない場合は、用紙に合わせて拡大は行えません。
- 18)アスペクト比を保持の設定
- 用紙に合わせて拡大を行うとき、「アスペクト比を保持」がONの場合、画像が印画領域より小さく出力されることがあります。
- 印画領域いっぱいに画像を出力したい場合は、「アスペクト比を保持」を OFF に設定してください。
- 19)カラーマッチング用カラープロファイル
- プリンタドライバにカラープロファイルは同梱されておりません。
- カラーマッチングを行う場合は、プリンタプロパティの色管理タブより、作成されたカラープロファイルを手動で追加して使用してください。
- カラープロファイル作成のためにカラーチャートなどを出力される場合は、プリンタドライバのオプションタブより色変換を「なし」に設定してください。
- 20)カラーマッチングの設定
- プリンタドライバでカラーマッチングをONに設定した場合でも、アプリケーションによってはカラーマッチング処理が有効とならないものがあります。
- また、アプリケーションによってはカラーマッチングをOFFに設定しても、カラーマッチングが有効となるものがあります。
- 21)Photoshop をご使用の場合
- 画像データの解像度がプリンタの解像度(423dpi)と異なる場合、正しい位置に印刷されないことがあります。画像データの解像度をプリンタの解像度に合わせてください。

お客様の目的に合った使用法

プリント画の色調整をしたい場合

(以下の設定を行ってもモニタ表示画像には反映されません。)

- 1) プリント画全体の濃度を濃く(暗く)したい場合
色調整ダイアログの "Brightness" の値を小さくします。
- 2) プリント画のピントが甘い(コントラストが弱い)場合
色調整ダイアログの "Contrast" の値を大きくします。
画像のコントラストが強くなります。
- 3) プリント画の色目を変えたい場合
色調整ダイアログの "Brightness" の値を変更します。
赤みをつける：色調整ダイアログの "R" の値を大きくします
緑みをつける：色調整ダイアログの "G" の値を大きくします
青みをつける：色調整ダイアログの "B" の値を大きくします

4) プリント画の色調整を詳細に行う場合

詳細設定ダイアログのグラフをマウスで動かし、画像全体の濃度を任意の γ 曲線に調整することが出来ます。

入力値に対して、出力値を小さくすると濃度が高く(暗く)、大きくすると濃度が低く(明るく)なります。

禁止事項について

本ドライバに対して、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブルすることを禁止いたします。

免責について

動作環境によっては正常に動作しない場合もあります。また本製品に関していかなる損害(逸失利益、特別な事情から生じる損害等)が発生しても、一切責任を負わないものとします。